

# 耳鼻咽喉科健康診断結果のお知らせ

(令和 7 年 4 月 改訂 4 版)

保護者 様  
小・中・高  
年 組 氏名

健診日：令和 年 月 日  
学校名：  
校長名：

該当に○	疑い疾患・所見	疾患・所見の説明
	鼓膜の観察ができない	耳あか等のために鼓膜の観察ができませんでした。耳鼻咽喉科に受診して、耳疾患の有無を確認してもらいましょう。
	耳垢栓塞	耳の穴に耳あかが充満して塞がっています。聞こえが悪い可能性がありますので、耳鼻咽喉科で耳あかを除去してもらい鼓膜も確認してもらってください。
	滲出性中耳炎	鼓膜の内側に滲出液という液体がたまる病気で治療が必要です。聞こえが悪くなりますので、日常会話や学校生活に差し支えることがあります。
	慢性中耳炎	鼓膜に穴があいていて、耳だれ等の炎症を繰り返したり、聞こえが悪くなったりします。放置すると難聴が進行し、手術が必要になることもあります。
	難聴	学校での聞こえの検査で、下記の音（○印）がはっきり聞き取れませんでした。 [右耳] 1000Hz/30dB ・ 4000Hz/25dB [左耳] 1000Hz/30dB ・ 4000Hz/25dB
	アレルギー性鼻炎	アレルギーの原因物質を吸入すると発症し、くしゃみ・鼻水・鼻づまりが主な3症状です。慢性的な鼻症状は集中力の低下など学校生活に支障が出る原因になります。
	副鼻腔炎	慢性的に粘性・膿性の鼻汁があり、鼻づまり・嗅覚障害・鼻出血・頭痛・痰がらみの咳など、いろいろな症状の原因となります。
	慢性鼻炎	慢性的な鼻症状があり、集中力の低下など学校生活に影響を及ぼすことがあります。今回の学校健診では視診のみですので、他の鼻疾患と区別できないものも含まれています。
	鼻中隔わん曲症	鼻の左右の空間を仕切る壁（鼻中隔）が強く曲がっているため、鼻づまりや鼻出血の原因になることがあります。手術が必要になることもあります。
	アデノイド増殖症	アデノイドは鼻の奥にある扁桃組織です。これが大きすぎると口呼吸、いびきや睡眠時無呼吸の原因となったり、中耳炎や副鼻腔炎を起こしやすくなったりします。
	扁桃肥大	口の奥の両脇にある扁桃組織が大きめです。大きいだけでは問題ありませんが、いびきや睡眠時無呼吸や嚥下障害（飲み込みにくい）等を生じることがあります。
	扁桃炎	扁桃腺の炎症を放置すると、高熱を繰り返す習慣性扁桃炎や関節、腎臓、心臓等、他の部位の病気の原因になることがあります。
	音声・嚔声	声がれや鼻声など、声に異常がある可能性があります。声の出し過ぎや鼻づまりが原因になることが多く、声帯結節や声帯ポリープが隠れていることもあります。
	言語・発音不明瞭	話し言葉や発音に異常がある可能性があります。その程度によっては専門機関での治療や訓練が必要になることがあります。
	その他	睡眠呼吸障害・鼻出血・舌小帯短縮症・頸部リンパ節・唾液腺疾患・甲状腺疾患（ ）

- 耳鼻咽喉科健康診断の結果、上表○印の疾患を疑う所見がありました。
- すでに診断を受け、治療や病状の説明を受けている場合の受診は不要です。【ご家庭での確認】に保護者が記入して、学校に提出してください。
- 診断されていない場合は、耳鼻咽喉科医師の診察を受けましょう。【耳鼻咽喉科での診察結果】に記入してもらい、学校に提出してください。

## 【ご家庭での確認】

●診断名： \_\_\_\_\_ を確認しました。

上記疾患に関し、すでに耳鼻咽喉科医師の診察を受け、治療や病状の説明をされております。

●学校への指示事項（水泳等）： なし ・ あり  
( \_\_\_\_\_ )

令和 年 月 日 保護者氏名： \_\_\_\_\_

## 【耳鼻咽喉科での診察結果】

●診断結果： ① \_\_\_\_\_ (1・2・3・4・5) ② \_\_\_\_\_ (1・2・3・4・5)

治療方針は上記診断結果の数字に○を ( 1.治療開始 2.治療終了 3.経過観察 4.問題なし 5.その他 )

●学校への指示事項（水泳等）： なし ・ あり  
( \_\_\_\_\_ )

令和 年 月 日 医療機関・医師名： \_\_\_\_\_